



暑さ寒さも彼岸までと申しすが、まだまだ暑い日が続いて
おります。皆様は、いかがお過ごしでしょうか。

今回は、「五節句」について、ご紹介いたします。

祝日として、江戸時代に年中行事を行う季節の節目、

「五節句」は、今日に至るまで、伝承されています。

日本における節句は、無病息災を祈りつつ生活文化を育んでいます。

古き良き文化に少し触れ、9月9日(重陽:ちやうよう)は五節句の中でも影が薄くなり
忘れがちですが、今年は重陽の節句を思い出して調べてみました。

1月1日の元旦は格別

1月7日(土草の節句) 3月3日(桃の節句) 5月5日(菖蒲の節句)

7月7日(七夕の節句) 9月9日(菊の節句)

私の家では、意味も分からず何げなく単に「栗ごはん」を食べる日となっています。

菊酒 食用菊の花びらをお酒に浮かべる。*菊には疲労回復・食欲増進の効果があります。

菊湯 湯船に菊を浮かべる。現代のハーブバスです。

菊合せ 菊を持ち寄って優劣を競います。現代の菊のコンクールです。

(菊祭りや菊人形展が、各地で開催されます。)

栗ごはん 重陽節句に食べる習わしで「栗の節句」とも呼ばれます。

秋茄子 「おくんちに茄子を食べると中風(ちゅうふう)にならない」と言われていて
焼き茄子や茄子の煮びたしが人気のメニューです。

重陽の節句は菊が主役だけあって、落ちつきがあり、風情がありますので、人生を
豊かにする日本の行事の1つとして、このような習わしを不老長寿のお祝いとして
1つでも取り入れてみては、いかがでしょうか。

今も太宰府天満宮では、秋思祭(しゅうしさい)が、催されていますので、行かれてみては
いかがでしょうか。

最後になりましたが、乗富材木店では、お家の
リフォームも行っております。まだ住めるので、家を取り
壊すのはもったいない!けども、と住みやすくしたい。

先のことを考えたリフォームをしたいなどといった
お悩みは、ご相談下さい。

これからしばらく残暑が続きますので。

体には、くれぐれもお気をつけ下さい。



ニーズをコーディネートする。ぬくもりをデザインする。

乗富材木店

TEL : 0944-74-1000

HP : <http://noritomi.jp>

〒832-0827 柳川市三橋町蒲船津 56-5

担当: 華井・小賦